

# 平成19年度 電子・情報技術系技術講習会

佐々木敏幸

工学研究科・工学部技術部 電子・情報技術系

より専門的な講習会とするために、情報グループ／電子回路グループの技術分野別に開催した。両講習とも、すぐさま現業に応用できる大変興味深い内容で、有意義な講習会であった。

## 情報グループ（情報系3班を対象とした講習会）

日時： 平成19年9月20日（木） 15:00 ～ 17:00

場所： 工学部7号館B棟313号室

講師： 情報基盤技術班 技術班長 鬼頭良彦

内容： 「Etherealを利用したパケット・キャプチャ」

ネットワークを流れるパケットを解析して見やすい形で表示出来る、フリーのLANアナライザソフトの「Ethereal」を利用したパケット・キャプチャについて講習を行った。

内容は、1) Etherealについての概況説明 2) キャプチャに必要な機器等の説明 3) Etherealの機能メニューの説明 4) 確認したい情報のフィルタリング操作方法 5) 実際にキャプチャ操作を行って、キャプチャした情報の確認を行った。

日頃、サーバーのセキュリティ確保に尽力している情報グループの技術職員にとって大変有意義な講習であった。

## 電子回路グループ（回路系1班を対象とした講習会）

日時： 平成19年9月25日（火） 9:00 ～ 11:00

場所： IB館南棟1階東195号室（電気学生実験室）

講師： 電子回路技術班 技術主任 澤木弘二

内容： 「PCを使用した計測システムの構築と実習」

データの集録、解析、表示迄の過程をパーソナルコンピュータ（PC）上で行う計測システム、即ちバーチャル計測器の講習を行った。バーチャル計測器用言語のLabVIEWを用いて、クランプ型電流センサからの信号をデータ集録ボードを介してPCに取り込み、電流を計測する簡単な計測システムを構成して、データ収集と解析を体験した。

サンプルプログラムを利用して、バーチャル計測器のフロントパネルの作成、ブロックダイアグラムの作成、プログラムのテスト・修正を試みた。視覚的な操作作業の流れで比較的簡単にデータ収集システムを作成出来ることを体験した。また、価格や機能面で、その使用目的と内容によっては従来の目的別計測器の方が良い場合もあるなど、その長所、短所も併せて学習することができた。